

(15) NIE 研究会

会 長 東 卓志 (八束中)
副会長 門田 直子 (中村西中)
事務局 井上 忠和 (西土佐中)

1. 研究主題 「新聞を活用した言語活動の充実と情報活用能力の育成」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
5月 6日(木)	四万十市教育研究会組織総会 ・役員選出 ・研究主題設定 ・年間計画	中村南小学校	8名 参加
8月 6日(金)	四万十市教育研究会 夏季研修会 講話・演習「NIE 活用の基礎・学校新聞づくりについて」 講師：高知新聞社読もっか NIE 編集部 岡林知永 様	中村中学校	8名 参加

3. 今年度の取り組み

○夏季研修会

- ・NIE 活動に関する基礎知識とその応用・可能性及び高知新聞中学生用 Peratto に関する活用法、及び SDG s を NIE 活動の中で学ばせるための提案について講師より教わった。

～研修後の参加者アンケートより～

- ・小中学生向けの新聞「Peratto」の活用法や新聞づくりのノウハウなど、具体的な手法を学ぶことができました。2学期以降の朝読書や国語科の授業等で活用したいと考えています。特に、私自身が「見出しのつけ方」の指導において悩んでいましたので、今回の研修で得た情報は非常に有益なものでした。小社会ノートの指導をする際に生かせるよう、国語科の教科会で伝達する予定です。
- ・前半の新聞活用、情報活用能力に関するお話は、国語の教科書での扱いが増えたこともあって、非常にためになるお話でした。授業で「批評・批判」について扱うことが多いのですが、「批判の本質」ということを常に知っておいた上で指導が必要だなと深く感じました。やはり、常に情報発信をしているプロの方のお話を聞くと、相手意識・目的意識の持ちようが、さすが私達とは違うなと深く思いました。SDG s に関しては、授業で取り上げていく際に、新聞の活用を積極的にしていきたいなと思いました。新聞づくりコンクールも、今後の指導において非常にためになりました。どれも有意義なお話で、よい研修を受けられました。
- ・情報活用能力について、新聞社としての立場から具体的に話していただき、教科の学習と重ねながら考えると同時に、自分自身の情報活用能力を振り返る機会にもなりました。また、新聞記事から SDG s との関わりを考えたり、新聞の見出しを考えたりと、演習も多く取り入れていただき、大変勉強になりました。
- ・講師の話は分かりやすく、資料も豊富で今後の指導に活用できるので助かります。また、SDG s を理解させるためにカードを用いての指導方法を学ぶことができ、とても有意義な研修を行うことができました。さらに、学校新聞づくりコンクールの受賞作品を使って、自分自身が考える見出し

づくりでは、思ったよりも難しくスムーズには行きませんでした。実際に学校で新聞をつくる際には、今日の研修で学んだ手法を活用したいと思います。

- ・演習を通じて新聞づくりや新聞を活用した授業の着眼点を学ぶことができ、有意義な時間となった。特にSDGsに関する学習については、どのように扱えばよいか悩むことも多くハードルが高いと感じていたが、新聞記事を活用した取り組みで学習のイメージを持つことができた。2学期からの学習に活かしたい。
- ・講師として初めて岡林さんに来ていただいたが、丁寧な説明とともに具体の活動も用意していただき、充実した研修となった。特に、SDGsの視点で記事を見取る活動や見出しをつける活動は実際に生徒にさせてみてもおもしろいと思った。SDGsの活動に関しては、これからの社会（世界）を見つめる視点でますます大切になってくることでもあり、学校教育の中で意識して取り組んでいく必要性も改めて感じた。また、記事の見出しをつける活動は、自分自身の記事の内容や構成を考えることにもつながり、自分が書く学校通信に役立つと感じた。実際、自分自身が生徒に教える立場として活動はできないので、本校の先生方に情報提供として伝えていく機会を見つけないか。その他にNIEの新しいガイドブックなどの資料提供もしていただき、感謝している。
- ・高知新聞の方には、いつも講師に来ていただき感謝しています。時代の流れの中で新聞販売の減少が続いていると思いますが、新聞記事を書き販売する情報と個人レベルでSNSを使って発信する情報とでは違いがあるようにも思います。NIE教育とは少し違って来るかも知れませんが、情報活用という点で情報発信のあり方も学べたらいいなと個人的に思います。子どもは（今の若者も）圧倒的にSNSの情報を見聞きしている割合が高く、これからもその傾向は強まるのではないかと思います。
- ・本日の研修のために、四万十市独自の材料も含めて豊富に、そして適切に資料や材料を準備していただき、高知新聞としてのNIE教育にける思いや、岡林さんの真摯で丁寧な姿勢を有難く感じた半日でした。新聞を活用する教育、新聞から学ぶ教育、これからも大切にしていきたいと思いました。

4. 成果と課題

〈成果〉

- ・高知新聞中学生用Perattoの活用をはじめ、新聞づくりの見出しをつける活動やSDGsをNIE教育で学ぶ方法など、中学校生のために即実践を行える学習会ができた。

〈課題〉

- ・各学校での様々な取り組み（学校新聞づくりコンクールなど）や取り組んだことによる教育的な効果を共有できる機会がもっとあれば、より課題に迫る協議を行うことが可能になるため、時間設定の工夫・改善が望まれる。
- ・限定された日程のため、講義形式（課題提起、実践につながる講話）か演習方式を取り入れるかなど内容に加え研修方法も事前に話し合うことも必要ではないか。

